

山梨県文学館協議会資料

平成29年3月8日(水)

山梨県立文学館

目 次

ページ

<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	2
<u>施設利用状況</u>	3
<u>観覧者数の推移</u>	4
<u>企画展等一覧</u>	6
<u>教育普及事業について</u>	8
<u>資料情報課事業一覧</u>	13
<u>指定管理者活動報告</u>	16

山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成27年9月29日～平成29年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	わたなべ よしひと 渡邊 慈仁	縣市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 （富士吉田市教育委員会 教育長職務代理者）
"	ほりうち みえこ 堀内 美恵子	県社会教育委員代表	社会教育関係 （山梨県社会教育委員、山梨県連合婦人会 副会長）
"	つたぎ まさきよ 蔦木 雅清	山梨文芸協会事務局長	学識経験者（山梨文芸協会事務局長）
"	むこうやま ふみと 向山 文人	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社論説委員長）
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	報道関係	学識経験者（テレビ山梨放送本部・報道制作局長）
"	しんばし やすのり 新橋 靖典	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
"	いけだ なおたか 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
"	こすげ けんいち 小菅 健一	山梨英和大学教授	学識経験者
"	ひろせ たかよし 廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	なかじま ようこ 中島 葉子	公募委員	家庭教育関係者
"	はやかわ ふみか 早川 史香	公募委員	家庭教育関係者
"	ひなた としこ 日向 俊子	公募委員	家庭教育関係者
"	おとぐろ ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係者
任命	しみず ちはる 清水 千春	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 （甲斐市立竜王北中学校長）
"	こいしかわ まさふみ 小石川 正文	県高等学校長協会代表	学校教育関係 （富士河口湖高等学校長）

山梨県立文学館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成28年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」（平成25年4月1日制定）の具体的な実践として、資料収集・整理・保存・公開事業、常設展・企画展などの展示事業、これに併せた様々な教育普及事業、さらに文学の魅力を伝えるための事業を実施した。

平成28年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回の展示替えに加え、次の資料を期間限定公開

春：芥川賞作家 李良枝 夏：与謝野晶子 秋：武田泰淳と富士 冬：詩人 米澤順子

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学）樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「辻嵐外 甲州の近世俳人」4月～6月

〈夏の特設展〉「宮沢賢治 保阪嘉内への手紙」7月～8月

〈秋の企画展〉「北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです」9～11月

〈新収蔵品展〉「直筆に見る作家のリアル」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・短歌教室・ワークショップ・特設展・企画展の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・読書会（協力会）

〈第25回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施 11月末締切り H29年3月12日表彰式

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができるとして

○閲覧室資料紹介＝やまなしの文芸同人誌－私の表現世界 / 宮沢賢治童話の世界 / マンボウ先生の作品たち－北杜夫の世界－ / 芥川賞・直木賞の小説を味わう

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

木々高太郎・新田次郎・村岡花子・辻邦生・石原八束・檀一雄・李良枝

○書庫見学 6/11（土） 11/20（日・県民の日） 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による常設展の解説（毎週日曜日）とその研修

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報など

（共催事業）

第22回与謝野晶子短歌文学賞（産経新聞社主催・山梨県教育委員会共催・山梨県ほか後援）

7月23日～24日、表彰式・関連事業を文学館で開催

第2回碑前祭 飯田蛇笏碑・龍太碑を巡り、講演と句会（山廬文化振興会と共催）10月15日

平成29年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回の展示替えに加え、次の資料を期間限定公開

春：木々高太郎生誕120年 夏・秋：夏目漱石生誕150年 冬：小林富司夫生誕100年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学）樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「歿後50年 山本周五郎展」4月～6月

〈夏の特設展〉「作家のデビュー」7月～8月

〈秋の企画展〉「津島佑子展」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・短歌教室・ワークショップ・特設展・企画展の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・読書会（協力会）

〈第26回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締切り H30年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができるとして

○閲覧室資料紹介＝山本周五郎を読む / 山梨に生まれた作家たち / 津島佑子の世界 / 近代文学の挿絵画家たち

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

土橋治重・太宰治・飯田龍太・田中冬二・深沢七郎・李良枝

○書庫見学 6/10（土） 11/20（月・県民の日） 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による常設展の解説（毎週日曜日）とその研修

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報など

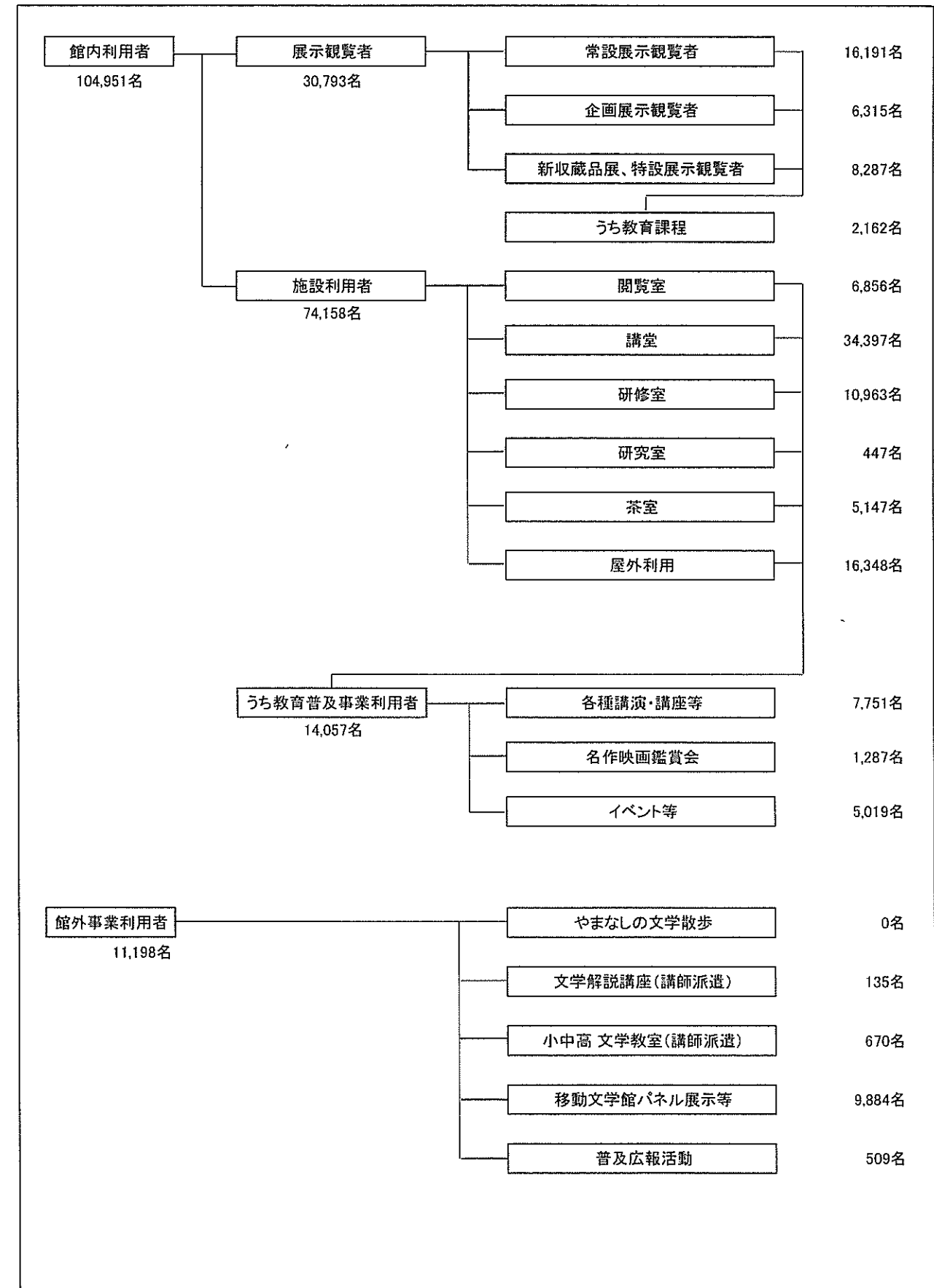
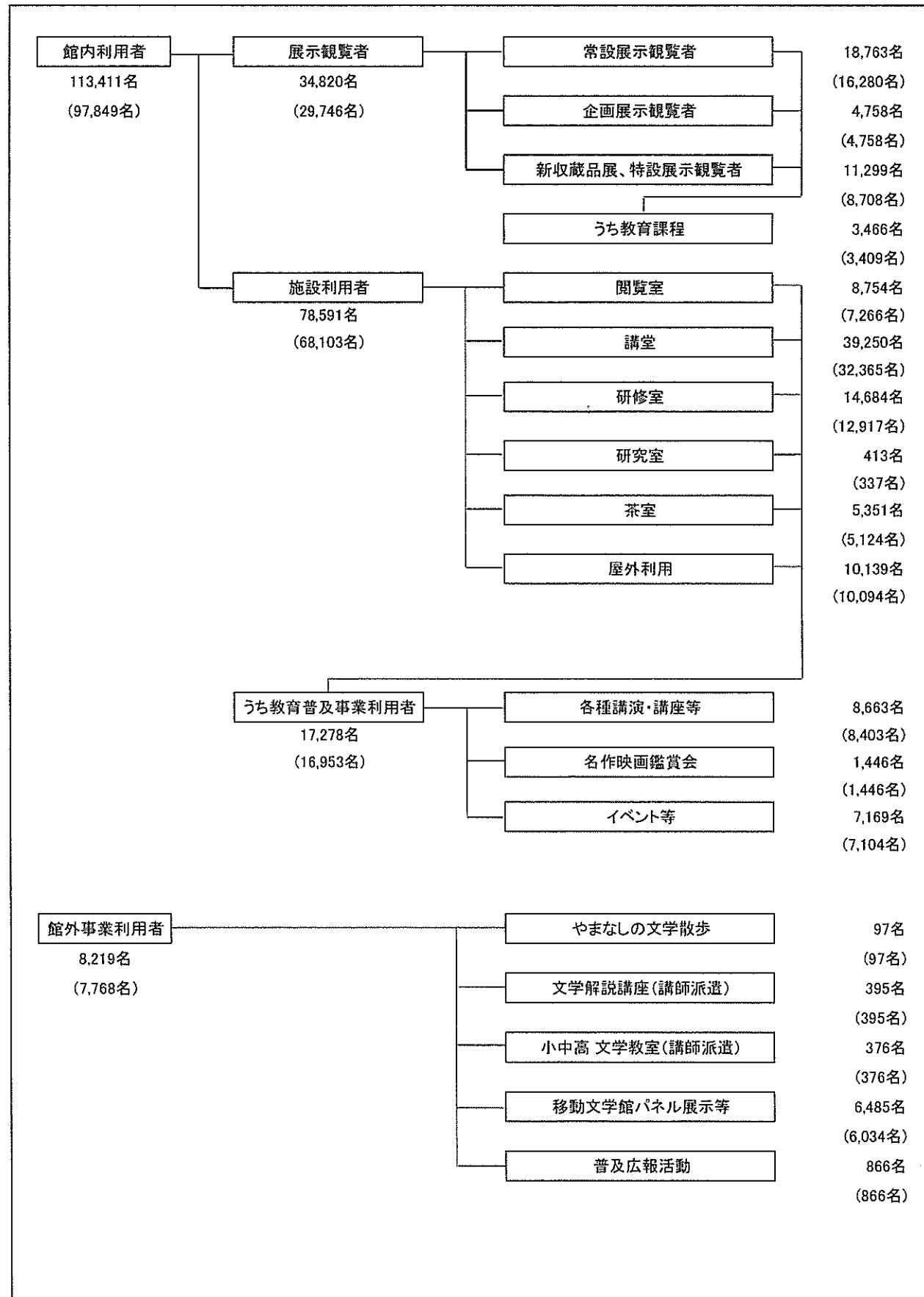
（共催事業）

第3回碑前祭 実施予定（山廬文化振興会と共催）

文学館における「利用者」の状況

平成27年度実績。()内は1月末現在

平成29年1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	255	16,191	6,315	22,506
計	8,033	772,711	391,958	1,164,669

平成28年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,038	40
5	27	1,719	64
6	26	984	38
7	28	2,264	81
8	28	3,527	126
9	26	1,429	55
10	26	1,787	69
11	26	2,218	85
12	22	598	27
1	20	627	31
2			
3			
計	255	16,191	63

平成27年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,399	54
5	27	1,981	73
6	25	1,715	69
7	28	1,748	62
8	28	3,530	126
9	26	991	38
10	28	1,661	59
11	27	2,389	88
12	24	359	15
1	20	507	25
2	24	1,005	42
3	27	1,478	55
計	310	18,763	61

1月 まで	259	16,280	63
----------	-----	--------	----

前年同期比 99.5%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,458,727名

特設展観覧者数 225,642

新収蔵品展観覧者数 68,416

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と樋口一葉	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
	計	2,792	391,958	140

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	『豹・レオパール』の詩人たち 一宮田柁夫資料より一	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 一西島麦南・松村蒼石・榎本虎山一」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 一瀨舜太郎コレクションより一」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 一「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に一」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラガキ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展 (常設展観覧料で見せた)	44	3,007	68
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダースの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展 (国文祭関連で常設展観覧料で見せた)	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展(特別コーナー村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
計		1,950	225,642	116

平成28年度 企画展・特設展など(実績)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 辻 嵐外 甲州の近世俳人	平成28年 4月29日(金・祝) ～ 6月19日(日)	45日間	2,514人	辻嵐外(1770～1845)は、江戸時代後期、文化・文政期を中心に活躍した俳人です。 生まれは越前の国(現在の福井県)敦賀で、青年時に甲州の俳人、五味可都里を頼って移り住み、以後、住まいを何カ所か移しながら、歿年まで甲斐で過ごしました。 本展では文学館がこれまで収集した資料と共に、県内所蔵者の協力を仰いで多彩な資料を集め、現代の目からみても親しみと共感を呼ぶ作品と書画の魅力を紹介しました。 * 常設展の一環として開催	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	平成28年 7月9日(土) ～ 8月28日(日)	46日間	5,367人	詩、童話に独自の世界を切り開いた宮沢賢治(1896～1933 岩手県生まれ)。無二の親友であった山梨県韮崎市出身の保阪嘉内(1896～1937)との交友を表す73点の手紙が、平成27年当館に寄託されました。 寄託後初の展覧会として全73通を公開し、賢治と嘉内の友情に迫りました。 * 常設展の一環として開催	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです	平成28年 9月17日(土) ～ 11月23日(水・祝日)	60日間	6,315人	小説家北杜夫は、代表作「楡家の人びと」などの純文学作品において高い評価を得る一方で、ユーモアあふれる独特の語り口が人気を博した「どくとるマンボウ」シリーズを発表しました。 『どくとるマンボウ医局記』には、1955(昭和30)年に医師として山梨県立精神病院(現・北病院)に勤務した経験が記されています。 本展では代表作だけでなく、20代から30代にかけて同人誌に発表された作品もとりあげるほか、父である歌人斎藤茂吉や友人の小説家辻邦生やなだいなだらと交わした書簡を展示。 文学史に大きな足跡を残した北杜夫の生涯と文学を紹介しました。 * 自主企画・企画展	自主企画
4	新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル 飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・ 草野心平・太宰治ほか	平成29年 1月21日(土) ～ 3月20日(月)	50日間		平成28年に新たに収蔵した飯田蛇笏、芥川龍之介、井伏鱒二、草野心平、太宰治などの資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。 * 観覧料無料	自主企画 ・観覧料無料で公開

平成29年度 山梨県立文学館企画展・特設展予定

名称	会期	日数	展示内容	
特設展 歿後50年 山本周五郎展(仮称)	平成29年 4月29日(土)～ 6月18日(日)	45日間	大月市出身の小説家・山本周五郎歿後50年を記念する展覧会。 山本周五郎は、「赤ひげ診療譚」などの江戸庶民の人情ものや、「縦ノ木は残った」など歴史長編で人気を博し、映画化された作品も数多くあります。現在も多くの読者の支持を得ている数少ない作家の一人。当館がこれまでに収集した資料を中心に、その生涯と作品を紹介する。	* 常設展の一環として開催 ・今年発足した「初狩ファンクラブ山本周五郎研究会」や、ゆかりの地韮崎市と連携を図って、効果的な広報を行う。 ・会期中、名作映画鑑賞会として、周五郎原作映画2本を上映する。
特設展 作家のデビュー(仮称)	平成29年 7月15日(土)～ 8月27日(日)	40日間	半井桃水創刊の雑誌に発表された樋口一葉の「闇桜」、発表当時の反響は小さかったものの現在ではほとんどの教科書に掲載されている芥川龍之介の「羅生門」、当時の文壇に大きな衝撃を与えた深沢七郎の「楢山節考」など、山梨ゆかりの作家のデビュー作やエピソードを館蔵資料により紹介。さらに、現在活躍中の辻村深月(笛吹市)、神永学(南巨摩郡富士川町)などのデビューの頃もとりあげる。	* 常設展の一環として開催 ・若い世代に人気のコミック「文豪ストレイドッグス」(角川書店)とのコラボレーションを企画する。 ・会期中、現在活躍中の作家による講演会開催を企画中。
企画展 津島佑子展(仮称)	平成29年 9月23日(土)～ 11月23日(木・祝)	53日間	2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子の初の展覧会として、生涯と作品をたどる。 津島佑子は、太宰治の次女として1947年に生まれ、大学在学中より小説を発表。結婚、出産、離婚、息子の死、母子家庭や障害を持ち夭折した兄のことなど、自身の体験をもとに女性の内面世界に迫る作品を創出した。長編小説「火の山 ― 山猿記」では甲州を舞台に、母・美知子の実家・石原家をモデルとした一族三代にわたる物語を壮大なスケールで描き、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞。少数民族や原発問題へと視野を広げ、多数の作品が海外で翻訳されている。	* 自主企画・企画展
新収蔵品展	平成30年 1月20日(土)～ 3月21日(水・祝)	52日間	平成29年度に新たに収蔵した資料を中心に、稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介する。	* 観覧料無料

◎ 平成29年度 県立美術館との共同企画について

年4回の常設展展示替えの内、夏・秋の期間に「夏目漱石生誕150年」企画のコーナーを設置。夏の展示(前・後期)に、漱石の文学と美術をテーマに、県立美術館との共同展示を行う。

夏の常設展 「漱石生誕150年」企画 「漱石とミレー」	平成29年6月6日(火) ～7月17日(月)	美術館所蔵のミレー「鴛鴦を遊ぶ少女」水彩と、文学館所蔵の漱石模写「鴛鴦を遊ぶ少女」を同時展示する。雑誌「白樺」なども合わせて構成する。
夏の常設展 「漱石生誕150年」企画 「漱石と橋口五葉」	平成29年7月19日(水) ～8月27日(日)	美術館所蔵の橋口五葉「髪梳ける女」(版画)ほかと、文学館所蔵の橋口五葉装幀による漱石の著書(『吾輩ハ猫デアル』ほか)を同時展示する。

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展 「北杜夫展」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月1日	講演会「どくともマンボウ家のてんやわんや」	齋藤由香（エッセイスト・北杜夫長女）	380
10月30日	講演会「北杜夫とどくともマンボウ、二人で一人」	石原千秋（早稲田大学教授）	162
11月3日	トーク「北杜夫は3人いました—喜美子夫人が語る波乱の50年」	齋藤喜美子（北杜夫夫人） 聞き手 三枝昂之（当館館長）	416
9月25日	「これは必見！展示資料から」	保坂雅子（当館学芸課長）	95
9月25日	ギャラリートーク	保坂雅子（当館学芸課長）	31
		合計	1,084

(2) 特設展

特設展「辻嵐外 甲州の近世俳人」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
5月14日	「辻嵐外の句と画の魅力」	高室有子（当館学芸幹）	85
5月14日	ギャラリートーク	高室有子（当館学芸幹）	45
		合計	130

特設展「宮沢賢治 保坂嘉内への手紙」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
7月10日	渡辺えり講演会「宮沢賢治と保坂嘉内」	渡辺えり	447
8月28日	移動プラネタリウムによる「賢治と嘉内～二人の青春」	高橋真理子	47
		合計	494

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長谷川千秋 （山梨大学准教授）	年間文学講座1（全8回）講堂 「甲州地誌『裏見寒話』— 甲州の伝説をよむ」 土曜日 14:00～90分	5月21日	153
		6月18日	150
		7月2日	157
		8月27日	118
		9月17日	118
		10月22日	118
		11月12日	97
		12月17日	102
		小計	1,013
牛山 恵 （都留文科大学名誉教授）	年間文学講座2（全8回）講堂 「宮沢賢治の世界」 木曜日 14:00～90分	5月12日	177
		6月9日	168
		7月7日	153
		8月18日	147
		9月15日	149
		10月13日	142
		11月10日	146
		12月8日	163
		小計	1,245
中野和子（当館学芸員） 伊藤夏穂（当館学芸員） 梶原宣仁（当館主幹・教育主事）	年間文学講座3「山梨の文学」	8月4日	87
		10月27日	29
		12月15日	23
		小計	139
		合計	2,397

(2) 与謝野晶子短歌文学賞

月 日	演題	講 師	参加人数
7月23日	特別鼎談、表彰式・選評会、歌会		340
		合計	340

(3) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月13日	特設展 先生のための学習会①	中野和子 (当館学芸員)	10
7月26日	特設展 先生のための学習会②	中野和子 (当館学芸員)	15
10月26日	企画展 先生のための学習会	保坂雅子 (当館学芸課長)	13
合計			38

(4) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	1,908
文学の柱	239
企画展チャレンジクイズ	942
特設展チャレンジクイズ	1,106

(5) 名作映画観賞会

月 日	題 名	情 報	参加人数
5月15日	居酒屋兆治	1983年 原作 山口瞳 監督 降旗康男 出演 高倉健 大原麗子	195
6月19日	真昼の暗黒	1956年 原作 正木ひろし 監督 今井正 出演 草薙幸二郎 左幸子	180
7月30日	アニメ「銀河鉄道の夜」	1985年 原作 宮沢賢治 原案 ますむらひろし	215
8月6日	アニメ「鉄腕アトム 緑の猫」	2003年 原作 手塚治虫	50
9月18日	残菊物語	1956年 原作 村松梢風 監督 島耕二 出演 長谷川一夫 淡路千景	185
10月16日	道～白磁の人	2012年 原作 江宮隆之 監督 高橋伴明 出演 吉沢悠 ペ・スピン	192
11月20日	彼岸花	1958年 原作 里見 弴 監督 小津安二郎 出演 左分利信 田中絹代	270
合計			1,287

(6) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月16日	物語る演劇 山崎方代	劇団黒テント	247
合計			247

(7) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月7日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	26
5月28日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	25
6月25日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	22
5月29日	一般創作教室 成島出「映画と文学」	成島 出	191
5月29日	高校生創作教室 成島出「映画と文学」	成島 出	37
9月8日	三枝昂之短歌講座	三枝昂之(当館館長)	61
11月26日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	42
合計			404

(8) ワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月22日	つまみ細工	飯島薫	30
7月18日	夏休み自由研究プロジェクト		412
7月27日	大人も楽しい伝統芸能 能	佐久間二郎	61
7月31日	ペーパークイリングで写真立てを作ろう	佐々木綾子	27
8月7日	飛び出す絵本	松下寛子	35
1月8日	新春ワークショップ百人一首教室	清水章子	54
合計			619

(9) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月26日	甲府城西高校		2
7月27日	甲府城西高校 山梨高校		4
7月28日	甲府城西高校 山梨高校		4
合計			10

(10) 学芸員実習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月12日	京都女子大学		1
合計			1

(11) 文学解説(展示解説、視察対応)

月 日	講 座 名	講 師	参加人数
4月6日	双葉新町老人クラブ展示解説	保坂雅子(当館学芸課長)	16
4月8日	都留文科大学国文科オリエンテーション	中野和子(当館学芸員)	160
5月10日	ことぶき勸学院 映東教室	中野和子(当館学芸員)	30
10月18日	中央市まごころ学園	伊藤夏穂(当館学芸員)	37

11月6日	田淵行男記念館友の会	中野和子(当館学芸員)	35
11月21日	東京大学国文学研究室	保坂学芸課長・中野学芸員	38
11月22日	調布市文学サークル	中野和子(当館学芸員)	32
11月22日	ことぶき勤学院 甲府教室	保坂雅子(当館学芸課長)	43
12月2日	ことぶき勤学院 峡南教室	伊藤夏穂(当館学芸員)	24
12月9日	ことぶき勤学院 中北教室	保坂雅子(当館学芸課長)	37
合計			452

(12) 山梨の文学解説講座(他会場への講師派遣事業)

月日	講座名	講師	参加人数
6月10日	小淵沢図書館 まなびの社文学講座	中野和子(当館学芸員)	25
6月17日	ことぶき勤学院 南都留	高室有子(当館学芸幹)	21
7月1日	ことぶき勤学院 北都留	高室有子(当館学芸幹)	18
10月22日	ほくと先人講座「蕪庵の人びと」	高室有子(当館学芸幹)	39
12月18日	ひたちなか市立中央図書館文化講演会	保坂雅子(当館学芸課長)	50
合計			153

(13) 小・中・高等学校文学教室(出前授業)

月日	講座名	対象者	参加人数
6月24日	石和中学校(短歌)	中学2年生	240
6月28日	増穂中学校(与謝野晶子)	全校	346
9月28日	甲府東小学校(宮沢賢治と保阪嘉内)	6年生	56
12月14日	早川北小学校	3,4年生	13
1月17日	都留高校	1,2年生	15
合計			670

(14) 小・中・高等学校教育課程対応(展示解説)

月日	内容	対象者	参加人数
4月13日	校外学習	南部中学校	8
4月14日	校外学習	増穂中学校	8
4月15日	校外学習	鯉沢中学校	5
4月22日	校外学習	上野原高校	140
4月22日	校外学習	竜王北中学校	4
5月10日	校外学習	長坂中学校	9
5月11日	校外学習	韮崎西中学校	12
5月12日	校外学習	須玉中学校	8
5月12日	校外学習	韮崎東中学校	6
5月13日	校外学習	石和こすもす	14
5月13日	校外学習	普連土学園	127
5月14日	校外学習	田富中学校	2
5月14日	校外学習	竜王中学校	11
5月17日	校外学習	白根巨摩中学校	10
5月17日	校外学習	甲西中学校	4
5月18日	校外学習	上野原中学校	6
5月18日	校外学習	早稲田高等学院	43
5月19日	校外学習	玉穂中学校	48
5月19日	校外学習	櫛形中学校	21
5月19日	校外学習	双葉中学校	27
5月20日	校外学習	城西高校	140
5月20日	校外学習	韮崎こすもす	9
5月24日	校外学習	東桂中学校	10
5月24日	校外学習	押原中学校	8
5月25日	校外学習	若草中学校	2
5月27日	校外学習	城西高校	146
5月31日	校外学習	山中湖中学校	4
6月15日	校外学習 授業	新田小5年	27

6月15日	校外学習 授業	新田小6年	27
6月22日	校外学習	甲府北東中学校	10
6月29日	校外学習 授業	新田小3年	27
6月29日	校外学習 授業	新田小4年	37
6月30日	校外学習	中央高校	1
7月6日	校外学習	大和中学校	6
7月20日	校外学習下見	駿台甲府高校	3
8月10日	校外学習	都留高校	3
8月13日	校外学習	都留高校	4
9月3日	校外学習	駿台甲府高校1年生	188
10月4日	校外学習	新田小6年生	27
10月7日	校外学習	共立女子中学校2年生	57
10月12日	校外学習	甲府あすなる学級	22
10月12日	校外学習	塩山高校1年生	156
10月18日	校外学習	北杜高校	3
10月21日	校外学習	高校文化連盟茶道部	153
10月25日	校外学習	新田小5年生	28
11月8日	校外学習 授業	新田小3年生	27
11月8日	校外学習 授業	新田小4年生	37
11月15日	校外学習	甲府昭和高校	123
11月16日	校外学習	甲府昭和高校	85
11月17日	校外学習	甲府昭和高校	83
合計			1,966

(15) 小・中・高等学校移動文学館(アウトリーチ)

月日	利用学校名	セット	対象人数
6月6日	御坂西小学校	B	569
6月10日	浅川中学校	B	403
6月21日	鯉沢中学校	A	98
6月23日	竜王西小学校	C	360
6月28日	増穂中学校	A	346
7月12日	石和東小学校	B	230
7月12日	石和東小学校	B	711
7月26日	大國小学校打ち合わせ		3
9月6日	境川小学校	B	239
9月14日	田富中学校	C	519
9月28日	甲府東小学校	D	400
9月29日	身延中学校	B	232
10月4日	中央高校	C	691
10月12日	甲府北東中学校	D	320
10月18日	下部小学校	D	60
10月19日	島田小学校	C	46
10月19日	都留高校	B	791
10月26日	増穂南小学校	D	39
10月26日	大國小学校	D	549
11月16日	西島小学校	D	78
11月18日	富士見小学校	B	353
11月22日	奥野田小学校	D	154
12月1日	中央高校	D	691
12月6日	泉小学校	D	276
12月14日	早川北小学校	B	25
1月6日	田富中学校	D	519
1月25日	富竹中学校	C	301
1月26日	貫川小学校	D	409
1月31日	八代小学校	D	472
合計			9,884

利用教材A:石川啄木セットB:龍太・蛇笏のちまちな人形セットC:花子とアンD:宮沢賢治

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員

小説部門：坂上弘・佐伯一麦・長野まゆみ

研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

部 門	応募人数
小説部門応募者数	300
研究・評論部門応募者数	118
合計	418

28年 11月30日 作品締め切り

29年 2月13日、16日 選考会

3月12日 表彰式

6月 小説部門受賞作単行本刊行

(16) 外部共催研修

月 日	企画名	対 象 者	利用人数
7月27日	総合教育センターとの共催研修		27
11月18日	総合教育センター 初任者研修会		32
合計			59

(17) 各種団体への普及活動

月 日	普 及 内 容	対 象 者	利用人数
6月3日	北巨摩支部校長会	学校長	27
6月6日	笛吹支部校長会	学校長	22
6月6日	高校国語部会	高校教員	45
6月7日	南都留支部校長会	学校長	50
6月7日	中巨摩支部校長会	学校長	52
6月14日	東山支部校長会	学校長	30
6月28日	北都留支部校長会	学校長	21
6月28日	峡南支部校長会	学校長	35
7月2日	山梨大学 文化施設実地研修	大学生	16
7月6日	高校校長会	学校長	80
8月5日	中巨摩地区国語サークル研修	教職員	20
8月10日	峡南支部学校図書研究会	教職員	26
8月17日	笛吹地区教員研修	教職員	24
8月18日	貢川地区教員研修	教職員	61
9月21日	山梨英和大学 司書課程研修	大学生	24
合計			533

(18) 協力会読書会

月 日	作 品	対 象 者	利用人数
5月8日	宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」		8
6月12日	太宰治著「お伽草紙」		8
8月6日	野坂昭如著「アメリカひじき・火垂るの墓」		7
9月11日	やまなし文学賞受賞山本淳子著「彩りの郷にて」		8
10月2日	北杜夫著「どくとるマンボウ航海記」		5
11月13日	角田光代著「対岸の彼女」		10
12月11日	五木寛之著「風の王国」		7
1月22日	林真理子著「女文士」		5
合計			58

平成29年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、事業を実施する。具体的には、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」等を実施している。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

平成28年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
やまなしの文芸同人誌 ―私の表現世界― 県内ではいくつもの文芸同人誌が発行され、それぞれに文学作品などが発表されている。当館に所蔵している同人誌を展示し、日頃目にすることが少ない作品を多くの人に紹介する。	平成28年4月29日(金) ～ 6月19日(日)
宮沢賢治 童話の世界 特設展「宮沢賢治―保阪嘉内への手紙―」にあわせ、夏休み子どもたちが楽しめる童話、絵本、まんがを中心に、DVD、朗読CDなども紹介する。	平成28年7月9日(土) ～ 8月28日(日)
マンボウ先生の作品たち ―北杜夫の世界― 企画展「北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです」にあわせ、北杜夫の小説、エッセイ等の著書や関連記事掲載雑誌などを展示紹介する。	平成28年9月16日(金) ～ 11月23日(水)
芥川賞・直木賞の小説を味わう 数ある文学賞の中でも、なにかと注目され話題の多い芥川賞と直木賞。歴代の受賞作品のうち、当館所蔵の単行本を中心に展示紹介する。	平成29年2月10日(金) ～ 4月9日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
木々高太郎(5月6日生まれ)	平成28年4月22日(金)～5月12日(木)
新田次郎(6月6日生まれ)	平成28年5月27日(金)～6月9日(木)
村岡花子(6月21日生まれ)	平成28年6月17日(金)～7月6日(水)
辻 邦生(9月24日生まれ)	平成28年9月9日(金)～9月28日(水)
石原八束(11月20日生まれ)	平成28年11月16日(水)～12月8日(木)
檀 一雄(2月3日生まれ)	平成29年1月27日(金)～2月8日(水)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成29年3月10日(金)～3月23日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行った。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

- 第1回 平成28年 6月11日(土)
 第2回 同 11月20日(日) 県民の日
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H29.1.31現在)

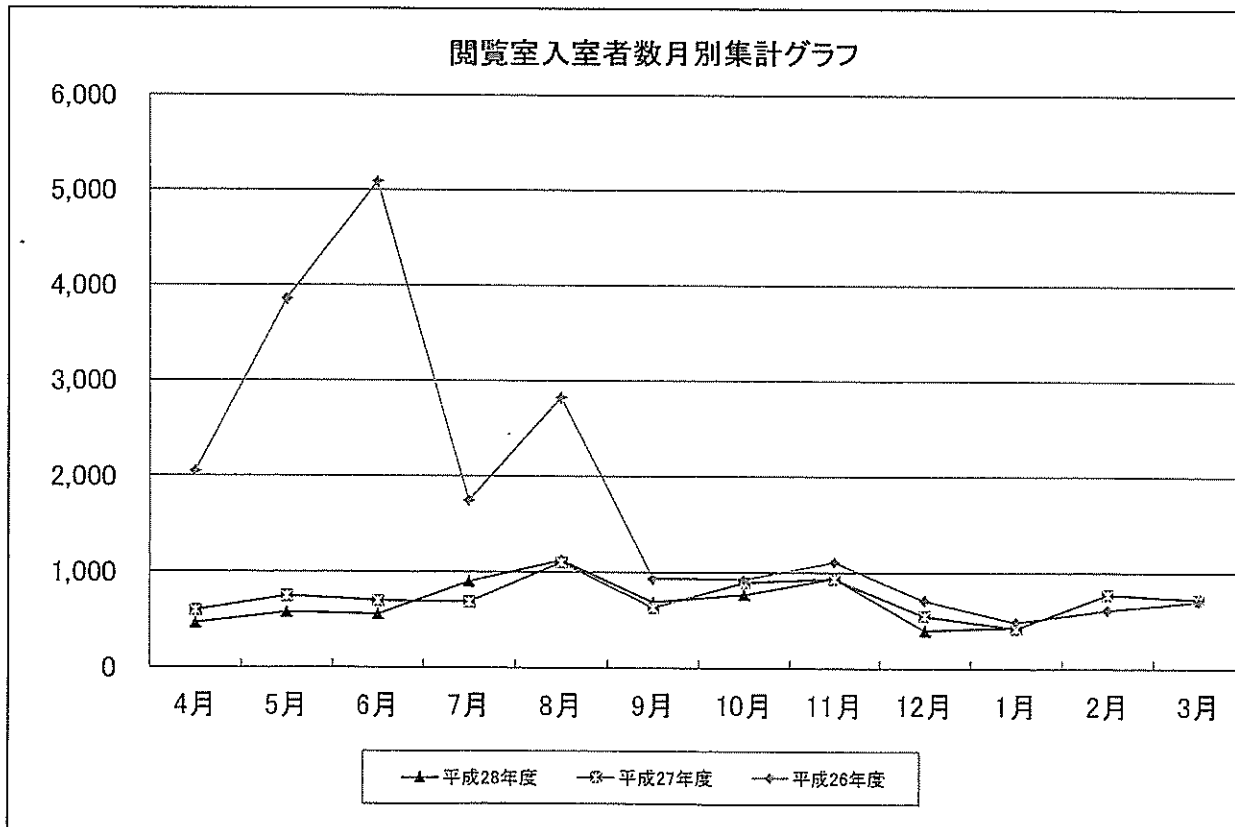
	開館日数	入室者数	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成26年度	308	21,055	81	438	2,475	286	11,408	0	2,001	850	60,074
平成27年度	310	8,754	116	450	2,107	406	5,132	0	2,012	660	41,152
平成28年度	255	6,856	79	356	1,441	273	2,563	0	1,186	546	

*H28年度以降HPアクセス件数はカウント不可

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H29.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成26年度	2,052	3,860	5,094	1,746	2,827	935	927	1,111	710	487	609	697	21,055	68
平成27年度	596	750	699	688	1,104	631	895	935	548	420	771	717	8,754	28
平成28年度	464	576	558	902	1,128	687	767	942	399	433			6,856	27



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H29.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成26年度	20	29	18	28	25	20	32	37	22	13	20	22	286	1
平成27年度	31	51	27	34	26	38	35	53	33	13	28	37	406	1
平成28年度	25	42	23	39	34	26	20	20	26	18			273	1

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H29.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成26年度	3,677	854	634	869	416	462	992	501	765	58	1,781	399	11,408	37
平成27年度	168	645	854	1,096	118	600	394	151	675	147	177	107	5,132	16
平成28年度	28	594	258	452	137	301	228	244	243	78			2,563	10

ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H29.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成26年度	6,586	8,541	8,124	5,308	8,154	3,888	3,430	3,891	2,046	3,697	2,964	3,445	60,074	165
平成27年度	3,395	3,306	3,700	4,219	4,072	3,613	3,329	3,715	2,572	2,846	3,078	3,307	41,152	132

平成29年度 資料情報課事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
山本周五郎を読む 特設展「歿後50年 山本周五郎展」に合わせて、「縦の木は残った」「山彦乙女」などの著作や研究書を紹介する。	平成29年4月29日(土) ～ 6月18日(日)
山梨に生まれた作家たち 林真理子、辻村深月、神永学など、山梨で生まれ育ち、現在精力的に執筆活動を行っている作家を取り上げる。映画化・ドラマ化などで話題となった小説や文学賞受賞作などを紹介する。	平成29年7月15日(土) ～ 8月27日(日)
津島佑子の世界 企画展「津島佑子展(仮称)」に合わせて、母方の系譜を追った長編小説「火の山-山猿記」などの著作や父・太宰治の関連資料を紹介する。	平成29年9月22日(金) ～ 11月23日(木)
近代文学の挿絵画家たち 創意を凝らした本の装幀や挿絵は、文章とともに本を読む楽しみのひとつである。近代文学の装幀と挿絵に注目して、橋口五葉、小穴隆一などを取り上げて紹介する。	平成30年2月10日(土) ～ 4月9日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
土橋治重(4月25日生まれ)	平成29年4月14日(金)～4月27日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成29年6月9日(金)～6月22日(木)
飯田龍太(7月10日生まれ)	平成29年6月30日(金)～7月13日(木)
田中冬二(10月13日生まれ)	平成29年10月6日(金)～10月19日(水)
深沢七郎(1月29日生まれ)	平成30年1月24日(水)～2月8日(木)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成30年3月9日(金)～3月25日(日)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成29年 6月10日(土)

第2回 同 11月20日(月) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

平成28年度 下半期文学館協議会

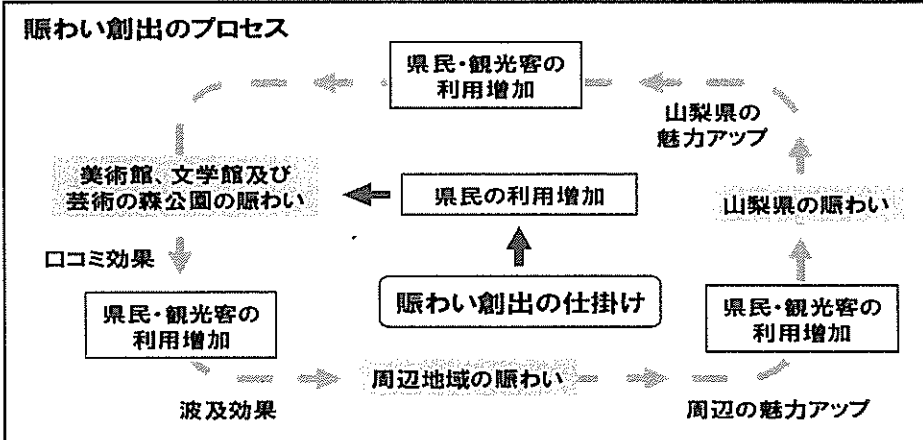
山梨県立文学館指定管理者
株式会社SPSやまなし

目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
 - ・ 関係各所との連携
 - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
 - ・ 避難訓練
 - ・ スタッフ全体研修
4. 基盤整備
5. 平成29年度に予定している活動

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



指定管理者活動トピックス 【2-1】関係各所との連携

文学館企画展「北杜夫」展(9/17～11/23)を開催。オープニングにはご夫人の斉藤喜美子氏をお迎え、招待客には出版関係、映像関係など各分野の関係者が参列され盛大に執り行われた。会期中県内外から多くのお客様が来館した。



指定管理者活動トピックス
【2-2】広報イベントの開催

10月に「ミュゼマルシェ」を開催。ハロウィンの雰囲気イメージした演出で統一。今年は『美術館⇄文学館⇄マルシェ』を巡るシールラリーを開催(参加者400名)。マルシェのお客様を美術館展覧会へ誘致する活動を実施した。



10/8-9
 参加者11,200名

指定管理者活動トピックス
【2-3】広報イベントの開催

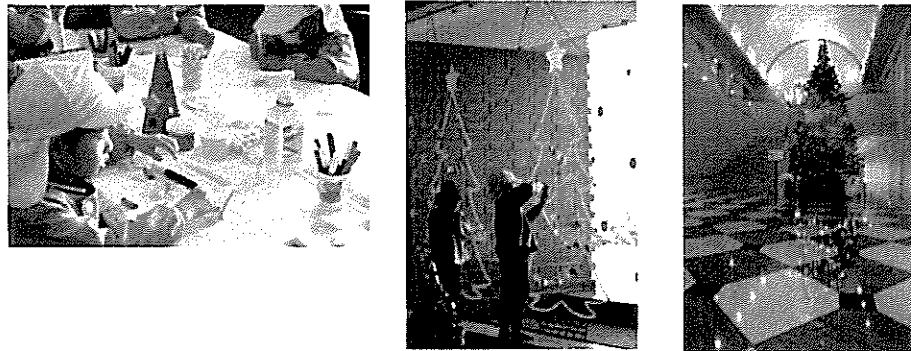
今年は県民の日(11/20)が日曜日ということもあり、各展覧会への誘客に繋がるよう文学館内ではバルーンアーティストによるパフォーマンスやワークショップ、クイズラリーを企画開催した。芸術の森公園では「ミュゼ・カフェ」を開催、両館の橋渡しの役割も果たした。恒例の呈茶も好評で500名の参加があった。



参加者
 11,460名

指定管理者活動トピックス
【2-4】広報イベントの開催

本年度は来館者が減る12月にクリスマスイベントを企画。文学館の2階窓を利用してオーナメント作りのワークショップを実施(12/3~25)。期間中の7日には賈川進徳幼稚園の園児と共にツリーの飾り付けやオーナメント作成を行った。事前に報道関係にリリースを配信し、山梨日日新聞、読売新聞、山梨放送で掲載・放送され、広報の一助とし、来館者増の仕掛けを行った。



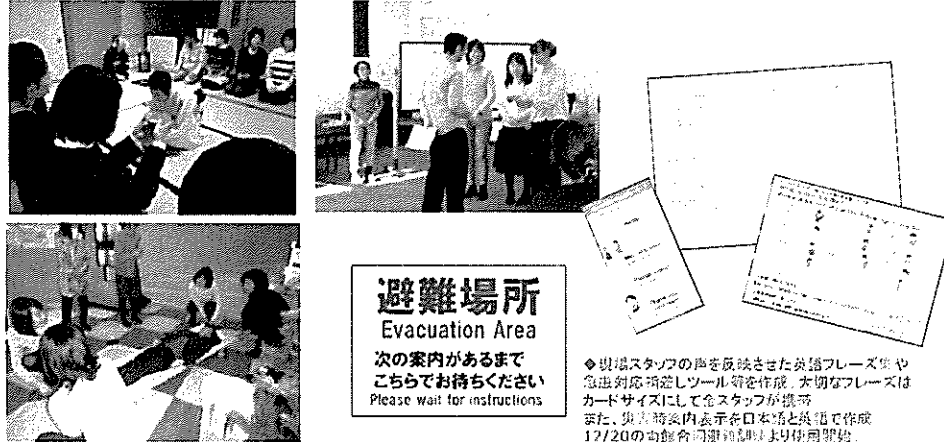
指定管理者活動トピックス
【3-1】ホスピタリティデザインの構築

スタッフ全員参加での研修会を9月、12月に実施しており、災害時避難の研修も実施した。今回は自力避難ができないお客様を想定し、担架や車椅子で避難をするという実地訓練とした。また、12月には全館職員が参加する合同避難訓練も実施。今後も繰返し実施することによりスキルを身につけていく。



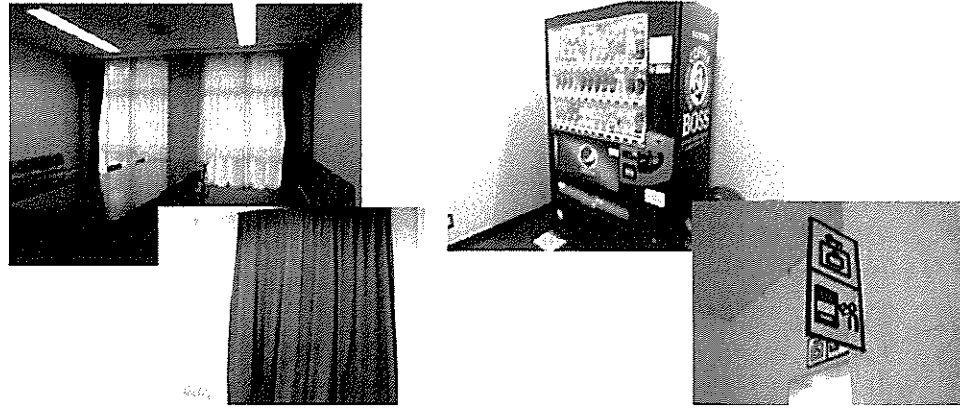
指定管理者活動トピックス
【3-2】ホスピタリティデザインの構築

12月実施のスタッフ全体研修では芸術の森茶会でご協力いただいている、素心会様による茶道体験教室を実施。館内の施設を魅力的に紹介できるよう自ら体験する場を設けた。また、研修ではインバウンド対応のソフト面を強化、外国のお客様の来館に備える。



指定管理者活動トピックス
【4-1】基盤整備 文学館内施設メンテナンス

文学館研修室のカーテンの老朽化がひどく、破れや穴が空いていたり、色褪せていた為、レースカーテン(白)、遮光カーテン(グレー)各6枚を購入し交換した。また、貸館利用者からの要望が多かった自動販売機をロッカールームに新設。ピクトも追加で掲示し、文学館のユーザビリティの向上に努めた。



指定管理者活動トピックス
【4-2】基盤整備 芸術の森公園植栽メンテナンス

公園内の樹木が成長し、電線へかかる、枯れているなどの危険木、近隣住宅へのどんぐりの落下が多い箇所など、急を要する樹木を伐採した。また、ぼたん園のボタンが枯れており土壌の入替えや植え替えを実施。次シーズンの再生を目指している。



指定管理者活動トピックス
【5】平成29年度に予定している活動

文学館キャッチコピー
作成中

ミュージカルシェ

県民の日イベント

芸術の森公園
アートツアー

ヴァンフォーレ甲府との
コラボイベント

展示会と関連付けた活動、賑わいの創出に繋がる活動を実施していく